



## 第 11 回 JBF シンポジウム プログラム (暫定)

日時： 2020 年 2 月 25 日 (火) - 27 日 (木)

場所： タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

### 第 1 日 : 2 月 25 日 (火)

12:30-12:45 開会の挨拶

12:45-14:05 バイオアナリシスおよび薬物動態分野への AI 導入

- [兼山達也・大日本住友製薬]
- AI による HPLC 用メソッド開発の実際と最新動向  
[鈴木政明・クロムソードジャパン]
- [半田耕一・帝人ファーマ]

13:00-14:00 LBA の失敗&トラブル事例と解決策 [サテライト会場]

- [内容検討中]

14:20-15:20 一般募集演題ポスター発表 (1) [ポスター会場]

15:20-15:50 ポスター自由閲覧 [ポスター会場]

16:00-18:00 医薬品開発におけるバイオマーカー測定の実際

- [斎藤嘉朗・国立医薬品食品衛生研究所]
- [Julie Taylor・Ultragenyx]
- [演者調整中・European Bioanalysis Forum (交渉中)]
- [内容検討中]

### 第 2 日 : 2 月 26 日 (水)

9:00-10:40 ニューモダリティにおける抗薬物抗体

- バイオシミラーの免疫原性評価 (仮題)  
[山本勝彦・協和キリン富士フィルムバイオロジクス]
- ペプチド製剤の免疫原性評価 (仮題) [Mayurranjan Mitra・Genentech]
- 核酸医薬の免疫原性 (仮題) [高草英生・第一三共]
- Immunogenicity assessment of gene therapies: Current and future concepts (仮題)  
[Lydia Michaut・Bioagilytix]

10:55-11:55 一般募集演題ポスター発表 (2) [ポスター会場]

11:55-12:25 ポスター自由閲覧 [ポスター会場]

12:35-13:35 ランチョンセミナー

13:45-15:00 ICH M10 ガイドライン(案)について

- [石井明子 / 斎藤嘉朗・国立医薬品食品衛生研究所]
- [山口健・住化分析センター]
- [演者調整中・European Bioanalysis Forum (交渉中)]



**15:30-17:00 DDS 製品の開発における Bioanalysis への期待と今後の取り組みについて (仮題)**

- バイオアナリシス技術に寄せる期待 (企業 DDS 研究の観点から) (仮題)  
[小林英夫・第一三共 RD ノバーレ]
- DDS 開発におけるペプチド分析 (仮題) [齋藤昌良・田辺三菱製薬]
- 探索研究段階における DDS 製剤の特性解析 (仮題)  
[山本栄一・国立医薬品食品衛生研究所]

**17:10-18:10 基調講演 国立がん研究センター 松村保広 先生**

18:30-20:30 情報交換会 (懇親会)

**第3日：2月27日 (木)**

**9:00-11:00 DG ポスター発表 [ポスター会場]**

**11:15-12:15 JBF-臨床薬理 コラボセッション**

- [内容検討中]

12:30-13:30 ランチョンセミナー

**13:45-15:45 高分子分析技術の新薬開発への応用**

- 抗体医薬品の免疫原性評価 (仮題) [関口修央・中外製薬]
- 抗体医薬のバイオトランスフォーメーション (仮題) [小林和弘・協和キリン]
- コラテジェンのバイオアナリシス (仮題) [小松野孝緒・アンジェス]
- リン酸化プロテオミクスの創薬研究応用の可能性 (仮題) [安藤智広・アクセリード]

**16:00-17:00 MIST 対応を踏まえた分析法開発 (仮題)**

- [内容検討中]
- [演者調整中・日本たばこ産業]
- [内容検討中]

**17:00-17:15 閉会の挨拶**

**【お知らせ】**

第1日 (2/25) のシンポジウム開催前 (10:30~11:30) に Flow cytometry 及び qPCR による Bioanalysis をテーマにビギナー向けの基礎講座 (無料) を開催します。シンポジウムに参加登録されない方も自由に参加できますのでこの機会に奮ってご参加ください。

**[注記]**

本プログラムは暫定版であり、今後変更されることがあります。  
ポスター&ブース会場は第1日 (2/25) のオープニングから閲覧可能です。  
また、シンポジウム期間中のポスターの貼り替え等はありません。